

福井県内 1196 社が倒産リスクに直面

物価高と人手不足が直撃

運輸・通信業、飲食店、飲食料品小売は高リスク継続、
建設業、製造業、小売業、卸売業はリスク拡大

福井県・「倒産リスク」分析調査(2024 年)



本件照会先

鷲崎 康弘(福井支店 支店長)

帝国データバンク

福井支店

0776-24-1058(直通)

問合せ先: info.fukui@mail.tdb.co.jp

発表日

2025/02/14

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンク
に帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成して
おります。著作権法の範囲内でご利用いただき、
私的利用を超えた複製および転載を固く禁じま
す。

SUMMARY

企業が1年以内に倒産する確率を10段階のグレードで表す指標「倒産予測値」(※)算出の福井県内1万4185社のうち、2024年12月時点で高リスク企業(グレード8~10)は全体の8.4%にあたる1196社であった。高リスク企業が最も多い業種は「製造業」の370社で、出現率が高いのは「運輸・通信業」の25.1%(442社中)、昨対比で最も高いのは「建設業」の118.8%、昨対比で最も多いのは「製造業」の28件増となった。

全国的に倒産が増加するなかで、福井県では2024年は48件の倒産が発生して2020年
以来の水準となり、倒産増に転じた。

倒産リスク指標(福井県8.4%)が示すのは、取引先が100社あれば、倒産リスクが潜在的に
高い企業は平均8~9社が存在することである。倒産増が続くなかで、売掛金の回収トラブル
を防ぐと信管理のみならず、安定供給に向けた調達管理にも注意を払う必要があるだろう。

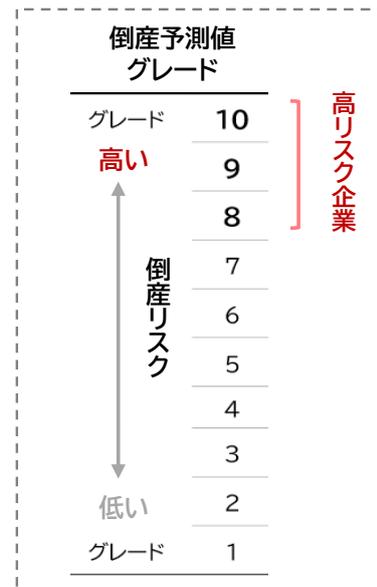
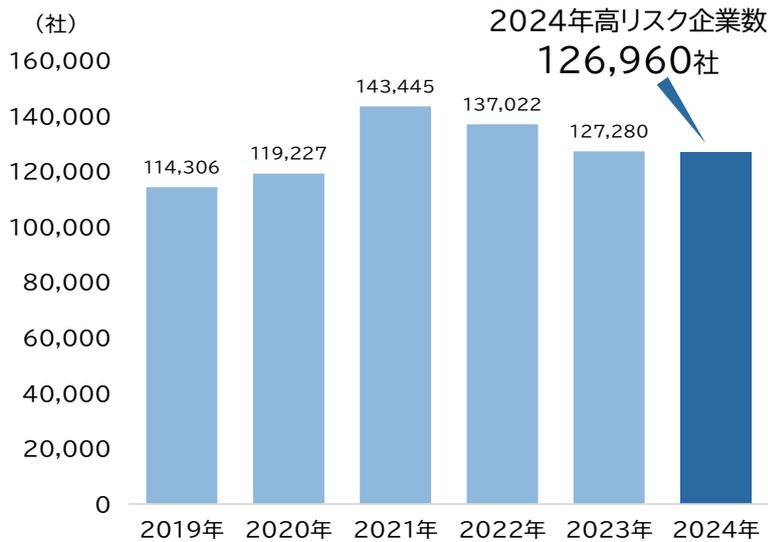
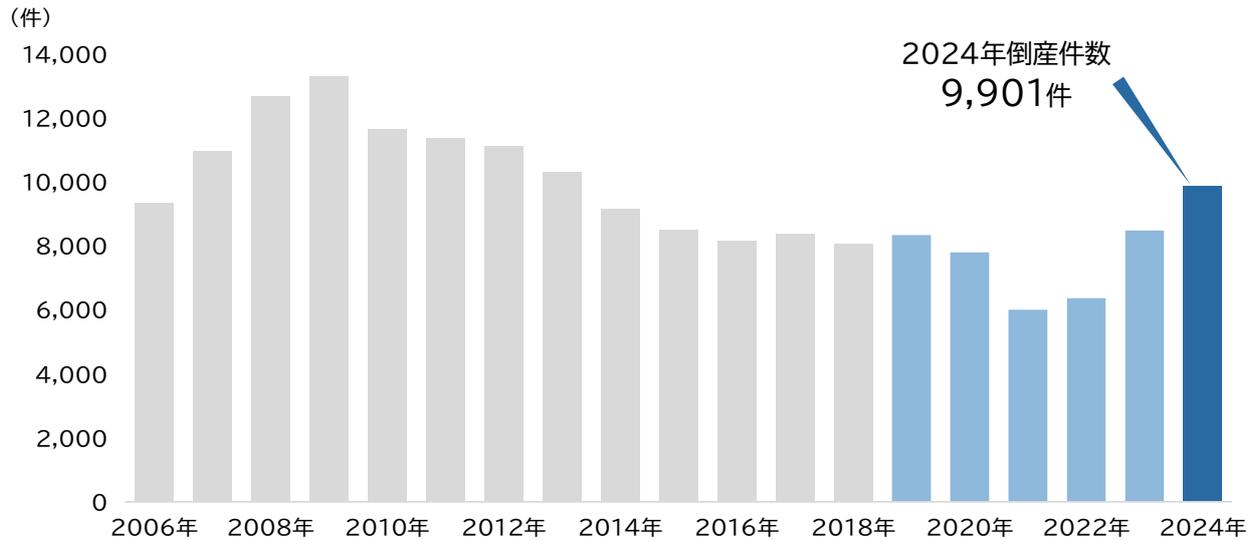
※倒産予測値とは

- ・ 倒産予測値とは今後1年以内に倒産する確率を個別企業ごとに算出したリスク指標
- ・ 現地現認の信用調査と、独自のネットワークによる変動情報などを集積した帝国データバンクが保有するビッグデータから、倒産に関係が深い要素だけに焦点を当て、独自の統計モデルにより算出
- ・ 個別企業ごとに予測したリスク指標をG1~G10の10段階のグレードに設定しており、G1が最も倒産リスクが低く、G10が最もリスクが高いグレードとなっていてグレードが高いほど実際に倒産が発生している

倒産リスクとは

- ・2024年は全国で9,901件の倒産が発生した。
- ・帝国データバンクは個別企業に、倒産リスク指標の「倒産予測値グレード」(G1～G10)を算出している。
- ・平均より倒産リスクが高いG6～G10が算出された企業のうち、G8以上を高リスク企業とした。

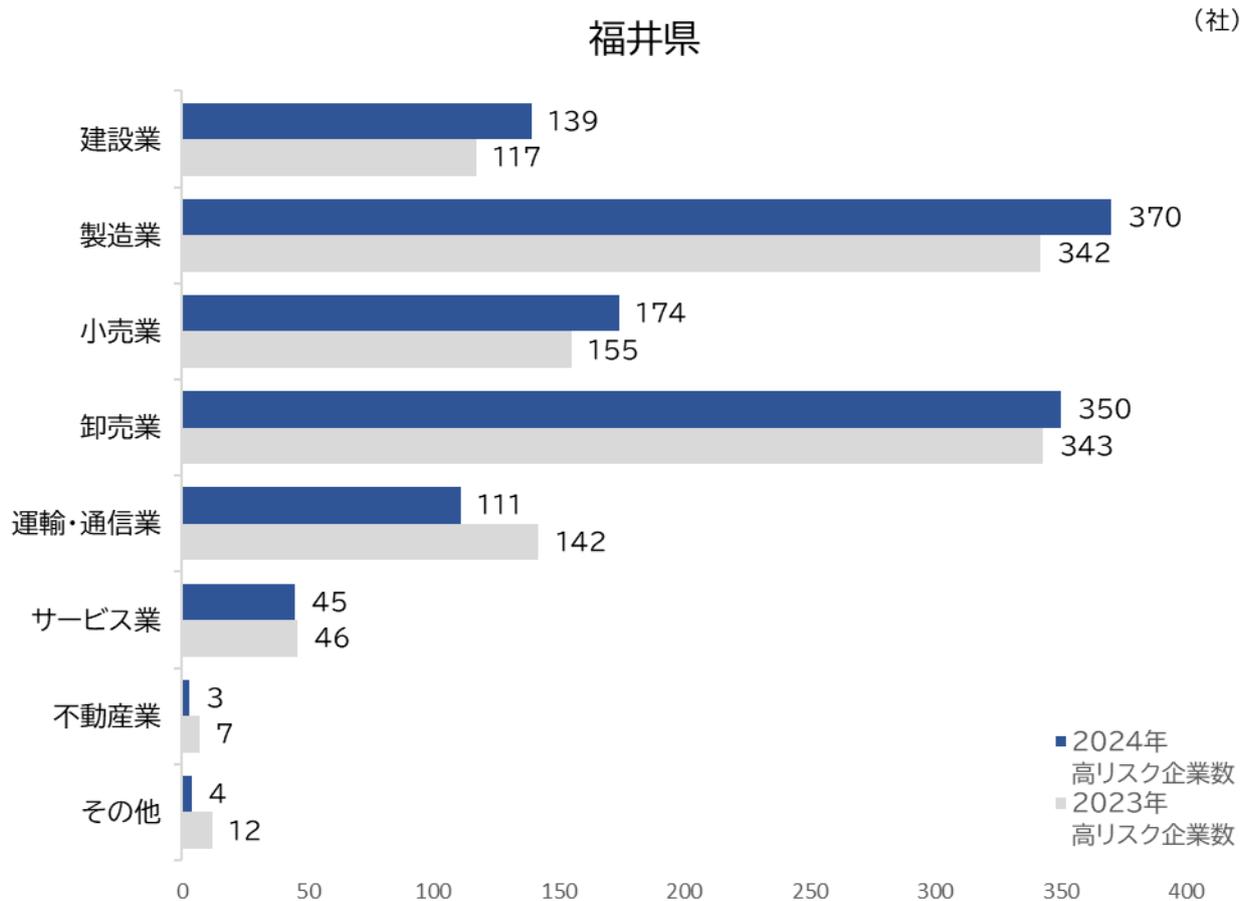
■全国の倒産件数推移、高リスク企業数推移



福井県 倒産リスクが高い業種(大分類)

- ・高リスク企業数では、「製造業」370社、「卸売業」350社、「小売業」174社
- ・高リスク企業割合では、「運輸・通信業」25.1%、「卸売業」17.5%、「製造業」17.0%
- ・昨対比で高いのは「建設業」118.8%、多いのは「製造業」28社増
- ・高リスク企業数が多い上位4業種は昨対比でも前年を上回っており、倒産リスクが高リスクの状態が続いている

(図1) 業種大分類別 高リスク企業数



コード	業種大分類	2023年 高リスク企業数	高リスク 企業割合	合計	2024年 高リスク企業数	高リスク 企業割合	合計	差分件数	前年比
A	建設業	117	3.4%	3,461	139	4.0%	3,443	22	118.8%
B	製造業	342	15.6%	2,188	370	17.0%	2,173	28	108.2%
C	小売業	155	10.9%	1,423	174	12.3%	1,411	19	112.3%
D	卸売業	343	17.4%	1,971	350	17.5%	1,996	7	102.0%
E	運輸・通信業	142	31.7%	448	111	25.1%	442	-31	78.2%
F	サービス業	46	1.3%	3,419	45	1.3%	3,528	-1	97.8%
G	不動産業	7	1.1%	645	3	0.4%	670	-4	42.9%
H	その他	12	2.4%	500	4	0.8%	522	-8	33.3%
	合計	1,164	8.3%	14,055	1,196	8.4%	14,185	32	102.7%

福井県 倒産リスクが高い業種(中分類)

- ・高リスク件数、割合いずれも「飲食店」「飲食料品小売業」「運輸業」「繊維工業、繊維製品製造業」が高位となった。
- ・これらの業種(中分類)で物価高と価格転嫁、人手不足の影響が直撃している様子が窺える

(図2) 業種中分類別 高リスク企業数

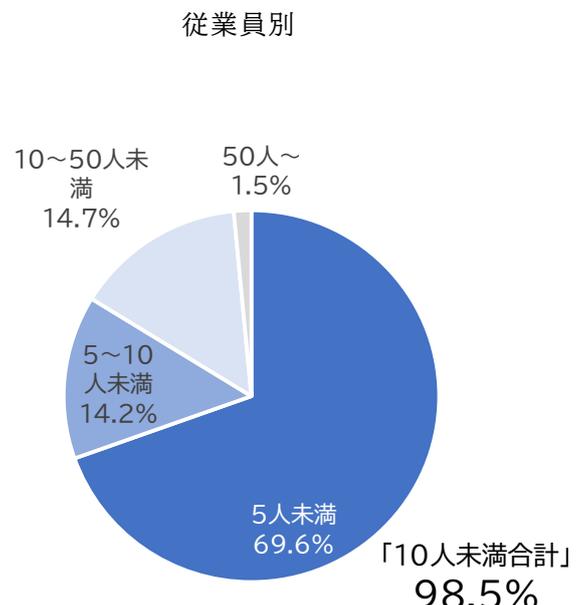
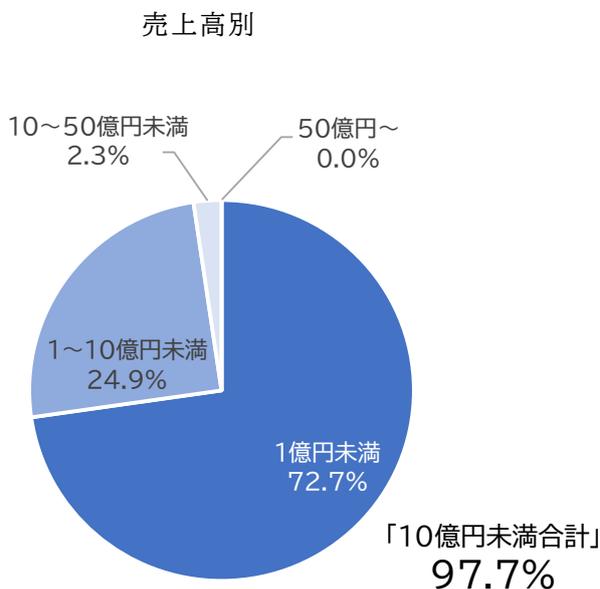
★ランク	業種	高リスク	全体	割合
1	飲食店	127	305	41.6%
2	飲食料品小売業	115	287	40.1%
3	運輸業	111	441	25.2%
4	繊維工業、繊維製品製造業	110	528	20.8%
5	総合工事業	79	1,361	5.8%

福井県 売上高「10 億円未満」が高リスク企業の9割超

- ・売上高別にみると、「1 億円未満」が 72.7%
- ・従業員数別も同様の傾向で、「5 名未満」が 69.6%
- ・福井県の 2024 年倒産 48 件のうち、従業員 10 人未満が 41 件を占めており、小規模事業者の高リスク傾向が現れている

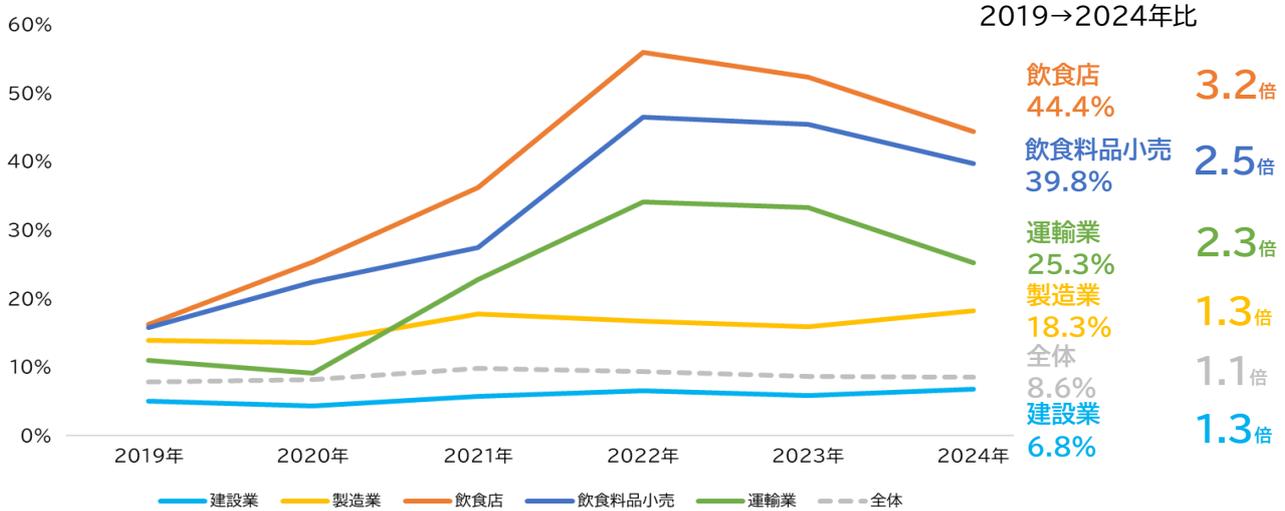
(図3/左) 売上高別

(図4/右) 従業員別



全国 高リスク企業「注目業種」

■「注目業種」高リスク企業割合推移



今後の見通し

福井県では2024年の倒産件数は48件となり、前年を17件上回り、2020年(48件)と同水準となった。全国的に倒産が増加するなかで、福井県も倒産増に転じた。飲食店、飲食料小売店、運輸業では、物価高に対する価格転嫁が不十分で収益性が圧迫され、倒産リスクや廃業リスクを押し上げる要因となっている。

コロナ禍を経て、経営改善が進む企業がある一方、依然として厳しい企業も多い。採用が進み業績が回復する企業もあれば、価格転嫁が進まず財務改善が果たされていない企業もあり、県下でも優勝劣敗が鮮明になっている。コロナ後の業績回復が不十分な企業のほか、経営者の高齢化と後継者問題、人手不足、ゼロゼロ融資の返済を抱える企業などで「あきらめ倒産」「あきらめ廃業」が収まらず、賃上げや金利上昇も収益性を圧迫する材料となり、小規模・零細企業で広がる懸念がある。過去からの各種支援で延命してきた「ゾンビ企業」も福井県で相当数存在すると見られ(全国推計 20 万社超)、日本銀行が目指す“金利のある世界”の金融政策のもとで新陳代謝も加速するとみられるため、倒産リスクの高リスク割合は引き続き8%台半ばの推移が見込まれる。

市場の変化はチャンスを生み出す。この変化を「変革の機会」と捉え、業歴を重ねる企業はこれに適応し、スタートアップ企業など、新たなビジネスと雇用を生み出し福井県の産業を牽引するような事業が軌道に乗り、安定することも不可欠になるであろう。